

山形県「未来に伝える山形の宝」事業

= うつくしい

第10号

うづぐすえ

令和2年 3月

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会

発行：東北文教大学 地域連携

ボランティアセンター



<2019年度実践報告>

実践プラン1 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動 実践プラン2 「南山形地区ガイドマップ」作成

第3回 羽州街道コース

大学出発

須川の埋没林

下問屋跡

長秀寺

南山形コミセン
(芋煮会・南山形
探訪DVD鑑賞会)

渡辺久右工門家

羽州街道巡り

大学到着



↑ 須川の埋没林(ビギナーコース)
学園の結城理事長もご参加下さいました



↑ 須川の埋没林(アドバンスコース)
保存活動の進捗状況などもご説明いただきました

9月28日(土)、今年度第3回目の野外ミュージアム南山形周遊バスツアーを実施しました。「自然・茂吉コース」、「いにしへの郷コース」に続き、今回は「羽州街道コース」を巡りました。今回の参加者はリピーターの方が半数以上いらっしゃったため、須川の埋没林では、ビギナーコースとアドバンスコースに分かれて、ガイドを進めました。また、今回の昼食では、初の試みとして、南山形コミュニティーセンターにてDVD鑑賞会及び芋煮会を実施しました(DVD鑑賞会の様子は次ページに掲載)。芋煮は与右工門亭さんにご協力いただきました。美味しい芋煮を食べて会話も弾み、心もお腹もいっぱい満たされました。午後は、渡辺久右工門家にて貴重なお宝を拝見させていただき、最後は、バス車内でガイドを聞きながら、昔の風景を思い浮かべつつ羽州街道を巡りました。

次年度も楽しんでいただけるバスツアーとなるよう、計画しておりますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

南山形小学校との連携

9月26日(木)、南山形小学校の「総合的な学習の時間」として「南山形地区の歴史的遺産に触れながら地区の魅力再発見する学習」に協力しました。対象児童は6年生55名、4コースから希望するコースについて事前学習した内容をもとに現地での学習を深めていました。協力者は、地域ガイド4名(①津金沢・上谷柏方面:高瀬紘一氏、②柏木山・黒沢方面:三宅寛氏、③片谷地・下谷柏方面:横沢誠一氏、④長谷堂方面:佐藤廣志氏)と、子ども教育学科の付き添いボランティア学生6名でした。地域の方と大学、小学生が交流し、学び合う貴重な機会となりました。

ボランティア学生からの感想では、「新たに山形の魅力に気づかされた」「自分達の住む地域の歴史や宝を守り愛着を覚えることで郷土愛が育まれることを学んだ」「自分の足で歩き目で見て心で感じたことは故郷を誇りに思う気持ちに繋がる」「地域とつながる活動に参加でき有意義な時間になった」など子ども達の学びをサポートすることで教育者としての学びを得る機会となったようです。

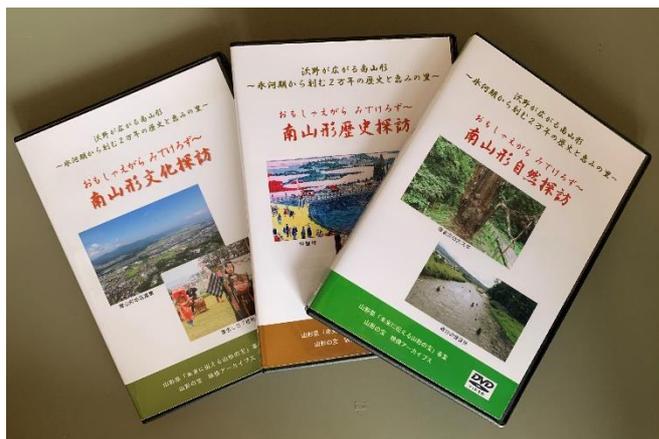


実践プラン3 DVDの作成

実践プラン1・2とのコラボレーション企画！

実践プラン1・2の第3回バスツアーと合わせて、南山形探訪DVDの鑑賞会を実施しました。南山形コミュニティセンターにて、昼食前にガイドによる補足もいただきながら、参加者全員で興味深く鑑賞しました。バスツアーだけでは知ることのできなかった、詳しい歴史や文化の解説もあり、南山形についてより深く学ぶことのできる良い機会となりました。

次年度も、作成したDVDをより多くの方々に見ていただけるよう、鑑賞の場を考えていきたいと思っております。本学HPやYouTubeでもご覧になれますので、どうぞお気軽にご覧下さい。



実践プラン4 南山形地区再発見の「講座」開設

第3回講座 「高瀬助次郎著 - 百姓生活百年記 巻式 - 発刊に寄せて」

今年度は3回の講座を実施しました。高瀬助次郎さんをテーマとするのはこの講座で2回目でした。前回は、農業者としての土地改良事業の先駆者、考古・郷土史研究者、そして近代農民生活・暮らしの考察者を語るシンポジウム、「百姓生活百年記」巻式 発刊を受けての講座でした。「南山形風土記」や「南山形物語」を系譜とする著作経緯や民俗研究としての評価などその輪郭を辿り、その詳細に記録された身近な内容に驚かされました。

そして、今回は、前回に続き山形県立博物館友の会副会長である市村幸夫さんより、巻式に記された明治末期から大正・昭和にかけての内容を中心に、他地方に残る写真・記述スライドによる比較を交え、その時代に生きた著者の視点を評論・解説していただきました。この本の特徴は、「生きた文明・庶民史」として、学校、鉄道、道路、電気、乗り物、戦争、農作物生産の道具、そして大火や震災までを農民の目で、こと細かに「百姓の心」を書き残しているところです。

一つ一つの項目に溢れる農業と郷土への誇り・思いは、次世代へ引き継ぐ「山形の宝」であり、刊行に携わった方々に感謝するとともに、より多くの方にこの著作に触れていただきたいと思えます。

また、次年度も南山形に眠る貴重なお宝の再発見や保存に向けて有意義な会となるよう計画しているところです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



「谷柏田植踊」全4演目復活！！

今年度は第4期生である学生と地域在住の方々の合計24名のメンバーで各種公演に参加しました。谷柏田植踊の演目はビデオに残されていたのが4演目のみでした。1期生から毎年1演目を習得していき、4年目の今年で4演目すべてを演じることができたのは大いなる成果でした。

*****2019年度メンバー*****

[東北文教大生11名]

○中太鼓:遠藤諒夏 ○源内棒:渋江颯太・村山卓 ○早乙女:菅井梨帆・土田有紗・恒儀日菜・中島愛美・三浦麗奈・森谷愛 ○陰太鼓:笹原捺希・鳥前拓也

[地域在住者13名]

○唄:伊藤哲雄・石井慶市・丹野裕志・高瀬勲・福井隆夫 ○笛:情野卯工門 ○鉦:金沢英雄
○口上:枝松昭雄・横沢正巳 ○寄せ太鼓:東海林明美・中村京子・渡辺千矢子・渡辺正江



< 2019年度出演実績 >

- 3月16日(土) 山形市民俗芸能大会 山形市民会館小ホール
(※前年度であるが、今年度4期生出演)
- <10月12日(日) 「東北文教祭」は台風のため急遽中止>
- 10月27日(日) 午前:北海道・東北ブロック民俗芸能大会 県民会館大ホール
- 10月27日(日) 午後:南山形地区文化祭 南山形コミュニティーセンター
- 11月23日(土) 最上地区民俗芸能フェスティバル 新庄市駅舎「ゆめりあ」
- 12月 7日(土) 特別養護老人ホーム「きらめきの里」慰問公演 天童市

今回も「うづぐすえ」第10号をご覧いただきありがとうございました。お問合せの際は右の大学事務局までご連絡下さい。また、本プロジェクトのHPもありますので、PCやスマートフォンからも閲覧することができます。本学HPからもリンク可能です。<URL : <http://uzugusue.netj.jp/> >

●事務局連絡先
〒990-2316 山形県山形市片谷地515
東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会
東北文教大学「未来に伝える山形の宝」事務局
TEL : 023-688-2298